

国語 13:20～14:05 場所：オープン スペース	自分の考えを発信しよう ～ 戦争と平和 ～	
	6年うめ組（ 42名 ）	近藤 英雄

1. 単元名 「自分の考えを発信しよう」

2. 単元の目標

- 内容知：多読を通して、比較して読む力、情報を活用する力をつけ、情報の価値を見抜くことができる。
- 方法知：自身の考えを創るために、知識を耕し、話し合うことで、多様な価値観を共感的に知ることができる。
- 自分知：平和についての新しい価値観や自分なりの生き方（かかわり方）を見出すことができる。

3. 単元について

（1）教科の視点から

一つの題材を複数の文化や価値観から述べた説明文を言葉にこだわって読み、複数の考え方・ものの見方の違いを読み取らせる。また、この題材に関する多くの書籍や資料を読むことを通して、背景にある知識を耕し、自分なりの考えを創り、自分なりの言葉で表現することを目指す。さらに、単元の終末段階で、これまでの学習をふり返り、新しい価値や自分なりの生き方（かかわり方）を意見文として表現する。

（2）研究との関連から 異文化間理解ステップ3にせまる手だて

戦争を扱う教科書教材は数多くある。しかし、一つだけの教材を精読し、感想を述べ合っていくだけの学習過程だけでは、その読みはある一面からだけの価値観であり、戦争の残酷さや悲惨さを自分事として考えるには浅すぎると考える。そこで、日本人や犠牲者としての立場だけでなく、複数の価値観から述べた説明文を提示し、多読を用いて背景を多角的に知り、互いの考えを交流し合う中で自身の考えを葛藤させ、きれいごとでは済まされない難しい問題に対する自分の考えがどう変わり、どう行動していくか、まです考えさせる学習過程として単元を構成した。

4. 児童の実態

今年度9月の実践では、筆者の主張が違う2つの説明的文章を教材として授業を行った。ここでは、多読で多くの知識を得ると同時に様々な価値観を知ること、これまで以上に話し合いの質的活性化が見られ、児童の考えの幅が広がったり深まったりする姿が見られた。また、言葉を自分の中で咀嚼し、自分の言葉で発信する児童の姿が見られたことは大きな成果である。本単元では、課題として残った論点を明確にして話し合う姿を期待するとともに、真摯に言葉と向き合い、多種多様な価値観に触れ、自身の考えが葛藤していくなかで、友達の考えを共感的に受け止めたり、友達と一緒に新しい価値観を作り上げたりしながら、新たな言葉を創出していく姿を目指していく。

5. 指導計画（全9時間）

第1次（第1～3時+リサーチ期間）

- ・ 説明文を読み取り、テーマに関連する情報を集め、自分の考えを持ち、全体で共有化する。

第2次（第1～3時） **第2次第3時（本時）**

- ・ 全体で話し合うテーマを決めて話し合うことで、自分の考えを深めたり価値観の違いを知ったりする。

第3次（第1～3時）

- ・ 自分の考えを主張する意見文を書き、最終的な自分の考えをまとめる。また、意見文を発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合ったり、感想を述べ合ったりする。

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・自分と異なった考え方を求め、新しい価値観を見出していこうとすることができる。
- ・話し合いに主体的にかかわろうとし、多様な価値観を共感的に知り、自身の考えを深めることができる。
- ・本時の活動をふり返り、次の時間の見通しをもとうとすることができる。

☆本時のポイント☆

- ・児童は、論点を明確にしながらか話し合いを進めることができるか。
- ・教師の働きかけは、児童の主体性を尊重しつつ行われ、話し合いの質を高めているか。

(2) 本時の展開

学習活動と予想される児童の反応	◇手だて ◆評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の話し合いをふり返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・前時で「話し合った内容」と「話し合いの仕方」の成果と課題について簡単にふり返る。 ○ 本時の課題を教師の事前対話から確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 前時の話し合いをふり返り、本時の話し合いをさらに活性化させたり、話し合いの仕方の成果と課題を本時の話し合いに生かしたりできるようにする。 ◇ 本時の課題を教師の事前対話で確認させ、話し合いの質的活性化を図る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「いろいろな考え方を求め、自分の考えを創り上げよう」 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のテーマについて話し合う。 ※ 話し合いのテーマは、前時に決定します。 【予想される話し合いのテーマ】 <ul style="list-style-type: none"> ・原爆を落としたことは正義といえるか。 ・自分がアメリカ大統領なら原爆を落としたか。 ・原爆の開発にかかわった科学者について。 ・日本は唯一の被爆国としてどうするべきか。 ・世界から核兵器を無くすためにできること。 <p>など、原爆投下の問題を主軸として様々な立場から戦争と平和について話し合う姿、また、自分事として考えたり、新しい価値観を求めたりする姿を期待したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 話し合いの進行を司会グループの児童に委ねる。司会の決め方は、児童の相互指名にする。 ◇ 話し合いの進行状況によっては、児童の主体性を尊重しつつも、教師が割って入ることで、話し合いの論点を明確にしたり、自分事として考えたりできるようにする。 ◇ 多読で得た知識を紹介する場合には、出典を明らかにさせ、イメージや感情だけで話し合うことが無いように注意させる。 ◆ 話し合いに主体的にかかわり、違う価値観を共感的に知り、自身の考えを深めることができる。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習感想を書き、本時の学習をふり返る。 【学習感想の観点】 ① 話し合った内容についての自分の考え。 <ul style="list-style-type: none"> ・○○と考えていたけど、考えもしなかった視点から話し合いができて、考えが（変わった、深まった、迷っている）。 ・何が何でも賛成だったが、○○のような考えが生まれた。今後は、○○のようにかかわっていきたい。 ② 話し合った方法についての自分の考え。 ○ 次時以降の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習感想には、①話し合いの過程で変わったり深まったり迷っていたりする自分の考えや、心を動かし友達発言なども合わせて記入させる②また、話し合いの方法をふり返ることで、これからの活動に生かすことができるようにする。 ◆ 自分と異なった考え方を求め、新しい価値観を見出していこうとすることができるか。 ◆ 本時の活動をふり返り、次の時間の見通しをもとうとすることができるか。

